

# だいすき・だいすき

絵・文 森ときえ

野々市保育士会・推薦

のま拍子木の会・推薦

演出ノート

①

ママ

「はい、かける君。お弁当できたわよ。」

かける君

「わぁーい。ママ ありがとう。」

(抜く)



だいすき・だいすき

二〇一一年二月 発行

十六場面

脚本・絵 森ときえ

製版・印刷 古田印刷

②

かける君

「ママ、ぼくね、

咲子せんせいと、いっしょに食べるんだ！」

ママ

「いいわね。」

かける君は、咲子せんせい、大好きだものねえ」

かける君

「うん！」

(間)

かける君のお弁当って、どんなのかな？

ちよつとのぞいてみようか？

反応を見ながら…



③

わあ……おいしそう！

えーっとハンバーグに卵焼きに、ウインナーに……

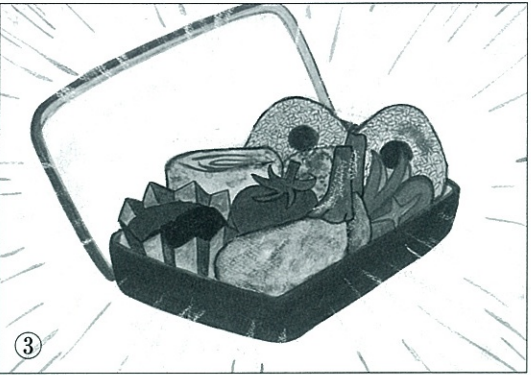
(子ども達の反応を見ながら、指で、なぞる)

あれ？何か云った？

しっ……静かに……

あつ……もしかして、お弁当がおしゃべりしてるのかな？

わびとらひしへ……



④

ミスター・卵焼き

「エッヘン！ オツホン！」

あー、やっぱり、お弁当の人気者といえば、今も昔も、

この僕が、人気ナンバー・ワンでしようなあ……」

と、ミスター・卵焼き。

ミスター・卵焼き

「かける君は、この僕を、一番先に食べてくれるでしょう。

あつははは……」

ミスター・卵焼きは、自身満々です。

ウインナー

「あーら、ミスター・卵焼きさん。人気なら私だって負けないわよ。

ちよつと見てちょうだい。この、ウインナー・スカート。

素敵でしょう？ ラララン…… ララン……」

と、ウインナーはご機嫌。



④

演出ノート

偉そうに登場

艶っぽく登場

(四)

演出ノート

男っぽく登場

⑤

ハンバーグ

「いやあ……ウインナーさん。フライパンの上は、楽しかったですなあ。どうですか？ また一緒に踊りませんか？」

と、ハンバーグがやって来ました。

ウインナー

「ほほほ……。そうね。」

本当に楽しかったわね。ハンバーグさん。」

……と、その時、

(クラツカールの音)

パン・パン!

(さっと抜く)



⑥

から揚げブラザーズ

「へいへいへい ベイビー！ 忘れちゃあ困るよ 皆さん！」

陽気に登場

から揚げブラザーズ

「そう！ 僕たち、カラカラから揚げブラザーズの事、  
忘れていませんか？」

から揚げブラザーズ

「イエーイ！」

なんと、陽気なから揚げブラザーズが登場しました。

から揚げブラザーズ

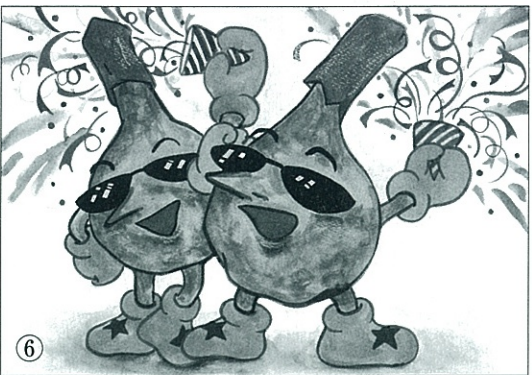
「近頃の子ども達の人気を一人占めしているのは、僕たちさ。  
かける君は、この僕たちを一番に選ぶと思うよ。ヒュー。」  
から揚げブラザーズも、かなり自身がありそうです。

(抜きながら…)

ブロッコリー

「ちよつと待った！」

カントリー調に



⑦

ブロッコリー

「お弁当は、見た目も大事ですたい。

それに、この鮮やかな緑！ からだには、ビタミンがたっぷり！

野菜は、血を、サラサラにするんです。」

ミスター・卵焼き

「あつははは……。」

ブロッコリー君。悪いけど、きつときみは、最後だと思うよ。

最近の子ども達は、野菜が嫌いだもの。」

ウインナー

「おほほほ……。そうねえ……。」

もしかしたら、食べてもらえないかも？」

ミスター・卵焼きと、ウインナーは、大笑いしています。



⑧  
ブロッコリー

「いや……。かける君は、きっと分かってくれます。  
自然豊かに育った野菜は、からだにいいんです……」

プチ・トマト

「そうよね。ブロッコリーさん。野菜は大切よ。

なんだか、故郷がなつかしいわ。なすびさんや、ピーマンさんは、

どうしているかしら……。クスン……」と、プチ・トマト。

……。と、そっく、

(線まで抜いて、止める)

おむすび君

「うおっほん！ 日本人なら……」

(全部抜く)



可愛らしく

どっしりした感じ



⑨  
おむすびですたい！」

から揚げブラザーズ

「あつ！ おむすびさんだ。」

ブロッコリー

「おむすびさんかあ・・・」

ミスター・卵焼き

「おむすびさんには、かなわないや。」

ウインナー

「きつとおむすびさんが一番だわ。」

それにあの梅干さんともお似合いね。」

みんな口々に言いあっています。

...

(演者、わざとらしく、うで時計を見る)

おーっと、もうお弁当の時間？

さて、かける君は、どれから食べるのかな？

(間をおいて、子ども達の反応を見る)

みんな、驚いて・・・

口調を変える



(九)

⑩ パーン！ パーン！ (クラッカーの音)

から揚げブラザーズ

「ヒヤッホー！ やつぱり、一番人気は、僕たち、

カラカラから揚げブラザーズでした！」

から揚げブラザーズ

「皆さん、お先に！」

パーン パーン！ (クラッカーの音)

ウインナー

「オーホホホ……。次は私ね。ごめんあそばせ。」

から揚げブラザーズとウインナーは、嬉しそうに去って行きました。

(間)

次は……



⑪  
プチ・トマト

「まあ。次は、私だなんて……」

ちよつぴり恥ずかしそうなプチ・トマト。

ブロッコリー

「おめでとう！ トマトちゃん。」

おむすび

「トマトちゃんは、新鮮だし、かわいいからなあ。当然だよ。」

ミスター・卵焼き

「トマトちゃん、バイバーイ！」

プチ・トマトは、みんなに見送られて行きました。

おーつと、今度は、



⑫

なんと！

ハンバーグと、ブロッコリーのコラボレーション。

ブロッコリー

「いやあ……ハンバーグさん、一緒に行きましょう。」

ハンバーグ

「かける君は、なかなかおしゃれな食べ方をするんだねえ……」

どちらもいい笑顔です。

……

ミスター・卵焼き

「えーっ？ 信じられない。」

おむすび

「むむむ……まさか残るなんて……。」

ふたりは、顔を見合わせています。



演出ノート

勇んだ口調で

⑬  
ミスター・卵焼き

「おむすび君、こうなったら、対決です。」

おむすび

「僕も、望むところです！ ミスター・卵焼き君、負けないよ。」

(リング上のアナウンス調で……)

♪ チャーン・チャ・チャ……チャーン……♪

青コーナー、ミスター・卵焼き。

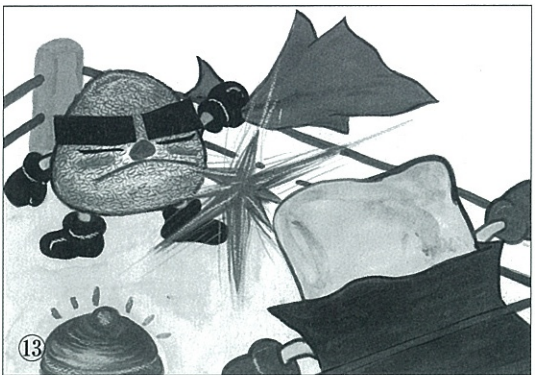
赤コーナー、おむすび。とうとう、対決が始まりました。

(間)

さあ、かける君は、どっちを選ぶのかな？

(焦らしながら、抜く)

子ども達に聞く



⑭

おむすび

「ミスター・卵焼き君、

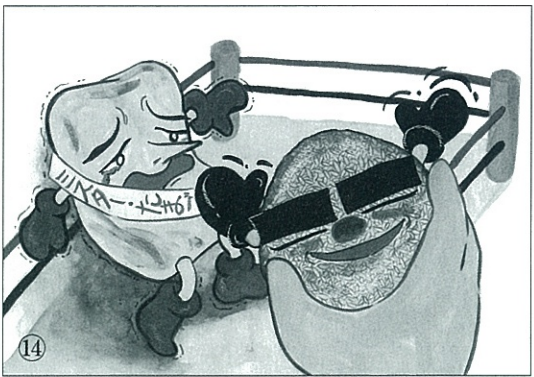
悪く思わないでくれ……。いざ、さらば。」

おむすびは、かける君の手に抱かれて去って行きました。

ミスター・卵焼き

「えー！ そ・そんなあ……」

がっかりした声で



(十四)

演出ノート

⑮

ミスター・卵焼き

「この僕が残ってしまうなんて……。信じられない！ ワーン。ワーン。

かける君は、僕のこの美味しさを忘れたのかなあ……。ワーン。」

ミスター・卵焼きは、ショックでたまりません。

ミスター・卵焼き

「む・む・昔は、巨人、大鵬、卵焼きと云えば、

日本の人気ベスト・スリーだったのに……。

か・かける君は、僕のこと、嫌いになったのかなあ……。ワーン。ワーン。」

(オーバーに泣く)

(間)

咲子先生

「あら？ かける君、卵焼き、残しちゃうの？」

咲子せんせいの声がしました。

口調を変えて

年配の方はご存知



⑩  
かける君

「ううん。卵焼き、食べるよ。」

僕ね、大好きなもの、最後のお楽しみにしていたんだ。

それに、ママが作ったお弁当、みんな大好きさ！」

良かったね、卵焼きくん。

## おしまい

### 子ども達の「いぶき」から……

私が、保育現場にいた頃、子ども達の何気ないつぶやきで、ずいぶん、楽しい  
思いをしました。

ある時、お弁当を開けたとたんに、

「わあ！ どれから食べようかなあ……」と迷っている子ども達の様子をみて、  
お話のイメージが膨らみ、この作品に取り掛かる原動力となりました。

お弁当の中身たちは、きつと自己主張しているだろうなあ……なんて、思うと  
私自身、とても楽しくなり、意欲的に製作できました。

様々な方面から、「食育」が叫ばれている、昨今。

本当に食事は、楽しい時間でありたいですね。

それに、お弁当は、老若男女、いつでも楽しいものですね。

皆様の手で、この紙芝居を沢山の子ども達に演じて頂ければ、嬉しいです。

(森ときえ)

